



結

姫

枯

輪

物

五
〇〇

Sales
of
Wedding

結婚指輪物語

— TALE OF WEDDING RINGS —

結婚指輪物語

Tales of Wedding Rings

あ い び い

3





Tales of Wedding Rings

結婚指輪物語

3

Contents

第 11 話

004

第 12 話

025

第 13 話

059

第 14 話

087

第 15 話

115

第 16 話

151



Presented by
M/WH HC

第11話

ナナ

あなた

おかえりなさい





あーっ

オトクッ
てば

あーっ……
えっちなねー

……いいだね？
俺たちは
夫婦だ

……ん
❤

キレイだよー







今日のサトウ…

ネフリティスに
ずっと付きっきり
だったの……















「よかった
誰もいない」

みんな先に
前もつた
のかな？



今日は
わたしは

サトウ様
のお墓に
なつてばかり
でしぬわら！



まじっけ
そんなの！
別に気にして
ないわら！

わたしと違って
アサギサイスは
本物のお墓に
なつたわら！

サトウも
お墓に
なつたわら！
あまじ！



辛い寂めきですん……

先程はわたし
サトウ様のお墓に
お参りと申して！





かわいいものをここに
いるのか？



なんだ！

なかなか戻って
来ないと思ったら
入れ違いか



そのような
ことで！

私たちは魔王様との
盟約としての使命を
果たすことが出来る
のでしょいか……？



——って……裸!?



寒い寒いー

もう少しして
ふたりで焼く
熱いお湯も沸くぞう
うすめやう



お祭りの
火を燃やして
してあげようか？

ーええ



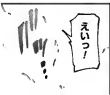
熱い
すんねー
このスケベー

うわー！
わかった
から！

火はよせ！
火は……



昨日は
すまなかった
ヒメ







これが――
もしかして……





なんだ……
この音は……



誰の仕度か
見えてきま
したよー



機嫌が悪いからいい



結婚指輪物語

— TALE OF WEDDING RING —





街が……

動いてる!?

街が……

動いてる!!







































うおおおおお
おおおおお
!!!









これが...

...

次の
見合い相手は誰!?

大の国の姫様!?











目を改めるが痛い

再び挑みたければ

わたしと
「見合い」たい者は

たくさん
いるのだからな



結婚指輪物語

— TALK OF WEDDING RINGS —

第13話







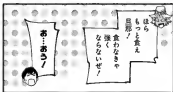




俺に勝てる
相手なのか……

火の輪轡の
ためとはいえ











すげえ…
良い眺めだ!



あのき…



…そうさ!
元氣出るさ!

出来るのも、
おまにこんなのを、
して買えるんを、
いくらでも、
経験出来るぞ、

サトウは、
面白いぞ。









あつげ
つえー！















えっ……
これは……

あかすりだ
さっきして
もらっただろ



お前はわたしに
一瞥見含いで
負けたのだ

ひとつくらい
言うことを聞いても
良いのだろうか？



俺！
男だし
素人
だけど？


頼むわんよ



でやあ……







他の姫たちをそうしたように
わたしもモノにすれば良い

この体……なかなか
楽しめると思うた……

…その顔も
顔でもないの
わかってる

お前には
余なくとも
その資格は
あるのだろ

しかし
剣術は
強人だ

期待は
していない

あとはこっちで
上手く
合わせてやる

手加減なんて…

必要ない……





「強くないと」
「……だ」

「なにが」



カツコ悪い



結婚指輪物語

— TALE OF WEDDING RING —



ネフリティス!?

ネフリティス様は
お久しぶりです

第14話







指輪の姫の嫁めは
指輪上様の
お力になることです

サトウ様の
想いのままになるのが
よろしいかと思えます

















全身を……

いいだろ……
これはあかすり
なんだから……

サトウ……
だあ……
そんな
アコロサマ……

くまなく

もう……そんなことも……

ア……

言ってられないのかも……



ムリムリムリ
ムリムリムリ
ムリムリムリ















指輪王！

かわせ！！



深淵王の騎士!?

どうして
こんな
ところなの?

……は……

ロム力で
倒したはずじゃ……!?







こやし……
魔物を呼び出し
おった！



深淵の魔物だ——



むむむ……へ



火の魔物か……!!



この区画だけを
他から
切り離せ！

ここを
魔物を
一匹たりとも
逃がすな……

はっ

深淵王の騎士か……
噂には聞いていたが

わたしの
相手としては
申し分ないな

悪いヤツ
ばかりで
退屈していた
ところだ

指輪王！

お前はそこで見ている!!

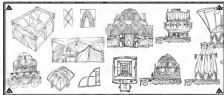
……ウラナート!!



アースレス博物誌

火の国ニードキッタは武勇を誇る榮譽の民。強人たちの彷徨騎士国である。この国そのものがひとつの騎士団であり、その王さえも仕えるべき王を求める一人の戦士とされている。古き神話の時代にはその民全てが指輪王に仕え、深淵王の軍勢と勇敢に戦ったという伝承があり、ニードキッタの人々の誇りと価値観の礎となっている。代々の王を指輪の姫との決闘で決めるという風習もその一端といえる。また、ニードキッタは国土を持たず、数台の巨大な魔動車の上に存在する移動国家である。かつて火の国の領土は深淵の領域に最も近く、神話の戦いで失われてしまったのだという。そこには隣国の土の国とともにいまだ住むもののない荒れ果てた土地が広がっている。

魔法技術で作られた動く都市『魔動車』。現在のニードキッタの全領土であり、巨大隊商を支える礎でもある。神話の時代、深淵王との戦いに用いられた兵器と伝えられるそれは、遙かな時を経た今も動きをとめることはない。最下層の魔動装置に近づくといまなお『ロ・イコ・リャー』『ドッコ・イコ・リャー』などの永久呪文の音を聞くことができる。魔動炉は絶えず熱を産んでおり、それを利用した暖房設備はニードキッタを常夏に保ち、サウナや風呂などにも活用されている。この素晴らしい魔法機関は、失われて久しい土の国の技術である。



第15話

猫人……

この区画から
退避して
くださいな

切り離せ！

……はい！

われわれ
猫人の力！！

見せる時が
来たな……







!?

「こたえが…」

無い…!!

!!



剣を融かす程の
熱か……



あの纏う炎を……
なんとかしなくては！

















指輪はここだ！

かかっぺいっ！







グラナート!!













しょうがないよね…

このためにサトウは
頑張ってたんだし…



いや……
まだダメだ

まだ指輪を
受け取るわけには
いかない













魔輪の
魔法を使え！

まさかわたしを
見てびって
いるのか？



違うな……



魔輪の力は……

とまたちに
借りている力……

僕の力じゃない

それで勝っても……

僕自身は

好きな娘の前で
無様に負けたい

カッコ悪い
男のままだろ？

俺は！
最愛の妻のために……

カッコ良い
男でありたいんだ!!!





ホントー！

バカなん
だからー



さあ、さあ

しんじろ
さん、さあ

それは



う



サトウ!!!

.....



もしー
聞っちゃう



さあ、さあ
さん、さあ



さあ、さあ
さん、さあ

グラナートに
勝ったら……



ご褒美に
エッチさせてあげる!!!



.....
よむ
!!!



本当に
面白いんだ

ハハハ

……面白い



結構から……

ハハハ



!?

少し手馴け
してやあう











アースルス博物誌

【細】 人は天恵の身体能力と獣の特徴をもつ種族である。猫人の肉体が持つ特徴は、種族全体が優秀な戦士であることの根拠を支えている。夜目が利き、聴力に優れ、しなやかな筋肉からの軽い身のこなしを得意とする。持久力は人間に劣る面も見られるが、危険の察知と安全の確保に優れる。その特性から猫人はきわめて優秀な戦士を数多く輩出しており、その能力は8回死線を渡るまで死なないとすら言われる。特に優れた猫人傭兵を雇う事はその主人にとって何よりの權威であり、高給を払いお飾りの護衛として求める王侯貴族も多い。

獣としての特徴は猫人と他種族との識別を容易にしている。とくに頭上の獣のような耳は特に目立つものであるが、頭蓋骨の形は人間とさほど変わらず、両者が近い関係にあることを示している。臀部にはおなじく獣のような尾があり、意のままに動かす事ができるが、感情に合わせ無意識に動く事も多い。機嫌なものにおいを嗅ぐ事を好み、特に人間が苦手とするたぐいの悪臭。具体的には足の裏や靴下のおいを積極的に嗅ぐ者も見られる。また、性質は陽気な者が多く、好奇心旺盛だが、あっさりと飽きてしまう事も多い。これは好奇心の強い猫人が首を突っ込みすぎて死んだという故事からの自嘲もあると考えられている。ちなみに『猫』とはこの世界アースルスの古き神の一位として数えられる獣神で『あらゆる神の上に座すもの』あるいは『あらゆる神の上に座すもの』とされている。異世界には同じくネコと呼ばれる動物がいるが関係は定かではない。



ニーダケッタに伝わる「猫」の図画。特徴的なヒゲと鋭い牙。さらに猫人に受け継がれたとされる耳と尾が見て取れる。手足の下には「肉球」と呼ばれる魔法の生皮があり、これに触れたものは絶対の幸福を授けられると信じられている。



第16話







わたしは
お前のことを……
真に認めなくては
ならんな……



わたしを
食かしたのは
お前が初めてだ

旦那だ……
強盗王サトウ



さあ
今すぐ

子作りを
しよう♡



遠慮する
ことはない……
今すぐ配下の者
に準備させよう



ニードキネタでは
調子を何よりも
重んずる

負けた相手に
身も心も
屈服するものだ



ちよっと……

それは――

待て……
グラナート!!

何を待つ
ことがある……

わたしは
もう……
お前の妻だ!!

それとも……

わたしの
この身体では
……不満か!!

そりゃやない……

俺には

先約が
あるんだ!

は……

ヒメとの…

先約が

………!!!



ナナ
ナナ

ナナ
ナナ

……うん？

ナナウズ
頑張ったと
思うし……

ナナ
ナナ
ナナ

これは……
二重取り……
だし……

ナナ









…今日は
かつこ良かったよ

…サトウ♡









ヤトや噂は
あの後すぐ
眠ってしまわれ
ましたよね



わたしやっと思きて
ここにや
居ていたのです…

次は
わたしの
番ですから

次!?



ネフリティス?

いたの!?



はい…
ずっと

そしてその次は
このわたしだ—!!

クラナートまで!

サア



早くして
くれないか？

クリストル姫

もう俺がこんなに
つかえているのだぞ？

タリナート姫
こんな
ときだよ、
お前さん！

もう時間
ですよ、

…時間？

カア



お前たちも
来い

…ああ



これから
披露宴を行うのだ









わたしは
これで満足だ



オラァ



大丈夫か？
じい……

んん……



どうして……
あんな急に……

わかんないよ……



使命を果たそうと
して呉れるのは

わたしの
ためだって……
わかっては
いるんだけど……

サトウは
どんな
強さを持つて

立派に……



サトウは……

王様だもんね

……は？



ドラナートや

ネフリタイスと通って

わたしは二週間

ただの女の子だから

できるかい

あげるとか

そんなこと

言うくらいしか



最初はわたしも
サトウを
巻き込んでやった
だけなのに

なんだか今は
わたしが置いて
かれてるような
気がしちゃって



わたしが
いちばんだって...

はやく証明して.....

わたしを
安心させて.....



だから...

サトウ



……ヒメ



でも……

ヒメとちやんと
……するのほ

あっちの世界に
帰ってからは
しないんだ



……まひや



……あのとき僕
本気で願しかった

ヒメが……
応援してくれてる



でも……サトウは

わたしのために
頑張ってくれたし

やっぱり何か
ご褒美あげたいな

なんでもいいよ

サトウが
して欲しいこと……
したらいかが……

ひとつだけ
なんでも聞いてあげる

わたしが
そうしたい！











サトウの
まがー

わたしの
カラダをー

うう
うう

うわ ぎゃあ...

そういえば！
グラナートは

本願で...全身...
燃らせたんだっけ...

だったらー...

いいの...すー







きやうや

あなただけ
びび…震で
け

あああしー

またのびていい!!!

壁の柱に縋りつくものを避せ
部屋には自分の部屋する時まで
笑いてお楽しみしてやつたのだに
なにかしらしているのか



…誰!?

ええいやう
約集だとか
知ったかや



うわあ
!?

準備エサトヤー
わたしはもう寝だー
暇人の中ではもう
行き遅れ悪いなんだ

これ以上…もう
怖たせてくれな

ウルナート!?

わたしは
形には
こだわらん
なにか…

まあこのお茶ー
アラサートにだけ
聞いてるんじやー







アースルス博物誌

食を見て国を識る。世界各地を巡る火の国らしく、さまざまな国の料理が用いられ、豊かな食を楽しむことが出来る。水の国特産の米を使った麺料理や長期保存の利くタオルケットの平し内の煮込み、いずれも各国の料理を世界のスパイスで装付けした独自のものとなっている。ただし、エルフの料理だけは其の危険性から厳しく禁じられている。国土は失われても文化は潰えず、火の国伝統の食材も受け継がれている。その中の一つ『イマウニヤイ』は火の国で広く食べられているものの、実態は謎に包まれている。手足のようなものがあるが、細くて何の意味があるのかはわからない。顔のようなものがあるが、実際に機能しているわけではない。動物なのか、植物なのか、あるいは加工された食材なのかも分らないのだ。ただ、馬鹿に美味いという事実だけが存在し、真実は錯人料理界によって秘匿されている。

世界を巡るニーダキッタでは常に温暖かつ移動を続けるという特殊な環境から、独特の生物が数種類生息している。魔動車の高層をねぐらに渡りをする鳥や、隙間を中心に群れて移動する草食獣などが知られている。そのなかでもチュンチュンとかわいらしい鳴き声で朝を告げるスズメという昆虫が有名である。長い触角と強い脚で飛び跳ねる小さな虫で、とても人なつっこく、民家や物置、扉の側でよく見られる。早朝の鳴き声をあらわす『朝チュン』は恋多きニーダキッタの風物詩として知られ、広く愛しまれている。

A



イマウニヤイは割ってしばらく置くとならたな顔と手足が生えてくるが、生きてはいるわけではない、謎である。



食べられる瞬間に叫んだ、夜中に動いた等と噂されるがそんなわけない
お覺に違いない

A

あとがき^①-^②

なんとおかしな事です。

この原稿がゆっくりにして 2000年編が3巻と4巻と5巻とある状態だったんですが、
なんとおかしな事と入って よかったです。サ・デ・ス・シ・ン・ガ。

どの巻にどのプラチナ・ナイトの図は、はいた 都合もあるのだ

その図は4巻以降であ・あ、やあ、こうと書いてます。

とんとん一冊で 2000年編の コレクションをやるのサ・デ・ス・シ・ン・ガ！！

せめて5巻は その巻の図を 最終の巻の巻に 追加してやるべき。

4巻は水の図です！！

予言は 正確な予言 図のセオリーは 2000年と...







生人目の嫁は
水の国の姫様は
父の国が
母の国が
？



悪人

お姫様には
双子の妹がいて…、
さらにその妹には
マルスとの浅からぬ縁が…？

NEXT

結婚指輪物語

— TALE OF WEDDING RING —

作：めいひ

第4巻 乞うご期待!!

カバー折り返し



のいびい

kuruma

原稿と印刷版に若干ですが
この漫画の作者に誤りありません。

※コミックス発売時のカバー折り返しを収録

表紙 表



※コミックス発売時の表紙 表を収録

表紙 裏



※コミックス発売時の表紙 裏を収録

カバー裏



Tales of Wedding Rings

結婚指輪物語

異世界で結婚したらもう二人の魂は結婚しなくてもいいんじゃないかってきたサトウ。

三人目の魂を求めて、四人たちが往く次の国を訪れる。

しかし次の国の姫・ダラナートは魔物の呪いで、自分より強い男しか結婚しないという。

果たしてサトウは、彼女と結婚することができるのか?

大人気作家あいり(仮)が贈る異世界結婚指輪3ブレイク、結婚の魂は誰に?



Presented by
MAGNET

※コミックス発売時のカバー裏を収録